

川口市子ども発達相談センター 「るるる」について

「落ち着きがない」「こだわりが強い」「言葉が遅い」など、お子さんの発達について気になることや、心配なことなど相談を受け付けます。小児科医、臨床心理士、作業療法士、言語聴覚士の専門相談や、関係機関への訪問などを通して、不安や悩みを一緒に考えます。

問 主な事業はどうなってますか？

答 発達相談(個別相談)・小児科医、臨床心理士、作業療法士、言語聴覚士による専門相談・親子教室・保育所、幼稚園、小学校などへの巡回訪問。

問 利用方法はどうなっていますか

答 電話相談／随時受け付けています。
面接相談／事前に電話で面接日を予約してください。

お問合わせは

川口市子ども発達相談センター「るるる」

所在地：川口市青木3-17-11(市役所青木三丁目分室2階)

電話：048-259-9048(直通)・ファックス：048-257-1520

気候危機を打開するために 市長宛てに[2030戦略]を提出

日本共産党は、世界各地で起こっている異常な豪雨、台風、猛暑、森林火災、干ばつ、海面上昇などに起因する気候危機問題を重視し、「気候危機を打開する日本共産党の2030戦略」を提言しています。これは2030年度までにCO₂を、50～60%削減することを目標として省エネルギーと再生可能エネルギーを組み合わせることで、「社会全体の省エネルギー化を進め、2030年までに電力消費を20～30%削減する。」「2030年までに石炭火力、原発の発電量はゼロとする。」「化石燃料から再生可能エネルギーへの転換を進め、2030年に電力の50%を再生可能エネルギーでまかなう。」また、環境を守る規制を強化し、乱開発をなくすことによって環境破壊や人体への悪影響を及ぼさない取り組みをすることです。

紙面の都合上、脱炭素に向けた2030戦略の一部を紹介しましたが、日本共産党川口市議団は9月議会閉会後に「2030戦略」のパンフレットを市長宛て(副市長が応接)に提出。環境問題について懇談を行いました。



10月31日(日)からは、英国グラスゴーで国連の気候変動枠組み条約第26回締約国会議(COP26)が開幕し、温室効果ガスの排出量削減や脱炭素化に向けたルール作りのほか、途上国支援をめぐる議論が行われます。今年は、パリ協定での「世界の平均気温を産業革命前に比べて2度未満におさえる」ため各国が、より厳しい排出削減目標を提出することが予想されます。若者が未来に希望を持てるように、川口市でも環境問題を議論して「地方自治体として出来ること」を追求していきたいと思います。